



なきごえ

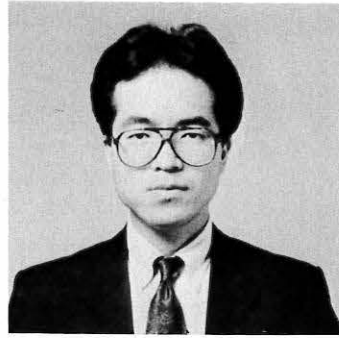


1991

1

大阪市
天王寺動物園協会

南 埜 雅 彦



今年の干支は、“未”である。“未”つまり羊は私たちと深く拘って来ており、特にウール、“羊毛”を抜きにしてはその関係を説明できないだろう。衣料品を初め、私たちの生活の数々の分野で羊毛が使われ、日本はそのほとんどを輸入に頼っているのである。そして羊毛と言えばオーストラリアがまず最初に頭に浮び、“羊の背中に乗った大陸”と言われるように世界の羊毛生産国である。

私はこの羊大国オーストラリアで約1年間羊とともに生活する機会に恵まれたので、羊に因んだ話を少ししてみたい。

羊の毛刈りは年に一度春から夏にかけて、ちょうど日本とは逆の10月頃からは行なわれる。私はこの時期、オーストラリアでも有名なタスマニア島のTR EFUSIS牧場に2週間泊り込み、毛刈りを手伝った。この牧場は広さが12000エーカーあると牧場主から聞かされたがピンと来ず、こちらの山の稜線から向うの山の麓までと言われて、初めてそのスケールの大きさに驚かされたのである。(ちなみに坪数で言うと1470万坪でゴルフ場なら約60個分となる)この大きな牧場にオーナー夫妻とマネージャー夫妻が住み、二人の使用人と犬4匹で8000頭の羊を管理しているのである。

羊は広大な牧場の中を150ぐらいに区切ったパドックと呼ばれる囲いの中で数ヶ月過ごし、牧草を食べ尽すと次のパドックへと移動させられるのである。この移動にはよく訓練されたシープドッグが大活躍する。口笛ひとつで右へ左へ回り込み、羊の群れを追い込む様子はただただ感心するほかはない。このシープドッグ、私には単なる雑種犬としか見えない

が、その血統は代々シープドッグとして由緒正しいということである。

こうしてシープドッグの活躍で集められた羊は筋骨隆々とした大男たち、シエアラ(毛刈り人)の手によって順番に毛を刈られる。羊は1年振りの散髪に興奮するのか、初めは暴れるがシエアラに抱きかかえられると急におとなしくなる。丸々と肥ったように見える羊も、あつと言う間に全身を丸裸に刈られるとまるで別の動物のように見え何となく哀れである。また電動バリカンで所々皮膚まで刈られ、そこから血が滲んでいる姿は可哀想でもある。傷を負った羊はそこから病気に感染しないように一頭ずつ薬を飲まされてから解放される。

羊毛は雄よりも雌の毛の方が品質が良いとされているため、雄は生まれて間もなく去勢される。(種羊は十分な飼料を与えられ、別の所で飼育されている)また、尻尾は毛刈りの際邪魔になるのと、衛生的に好ましくないとの理由から切り取られる。これらは両方とも、強力なゴムバンドでそのものを狭み、自然に切り落すのであるが、羊にしてみれば全く迷惑な話である。

刈り取られた羊毛は、一頭分が一枚の毛皮の敷物のようにくっついており、それを丸めて、太さや長さ、強さなどの品質で細かく分類して、バールに詰め込み、オークションにかけられるのである。オークションの当日は、精根込めて生産した羊毛がいくらで落札されるのかを見守りに来た牧場主たちの熱い視線が会場に溢れる。そしてある者は驚喜し、ある者は落胆に肩を落とす。それは、この一瞬で彼らのこの1年間の収入が決定されるからである。

牧場からの帰り道、私は道端で小さなハリモグラや野ウサギ、小型カンガルーのワラビーに何度も出会い、大きな樹に止まる色彩やかなインコの大群を見つけたことがあった。また、夜にはウオンバットやポッサムなどの夜行性の動物とも遭遇した。地球環境破壊が叫ばれる今、この緑豊かなタスマニアの大自然がいつまでも守られ、野生動物や羊、そしてシープドッグたちの楽園であり続けることを願っている。(藤井毛織(株) 社長室)

なぎごえ1月号もくじ

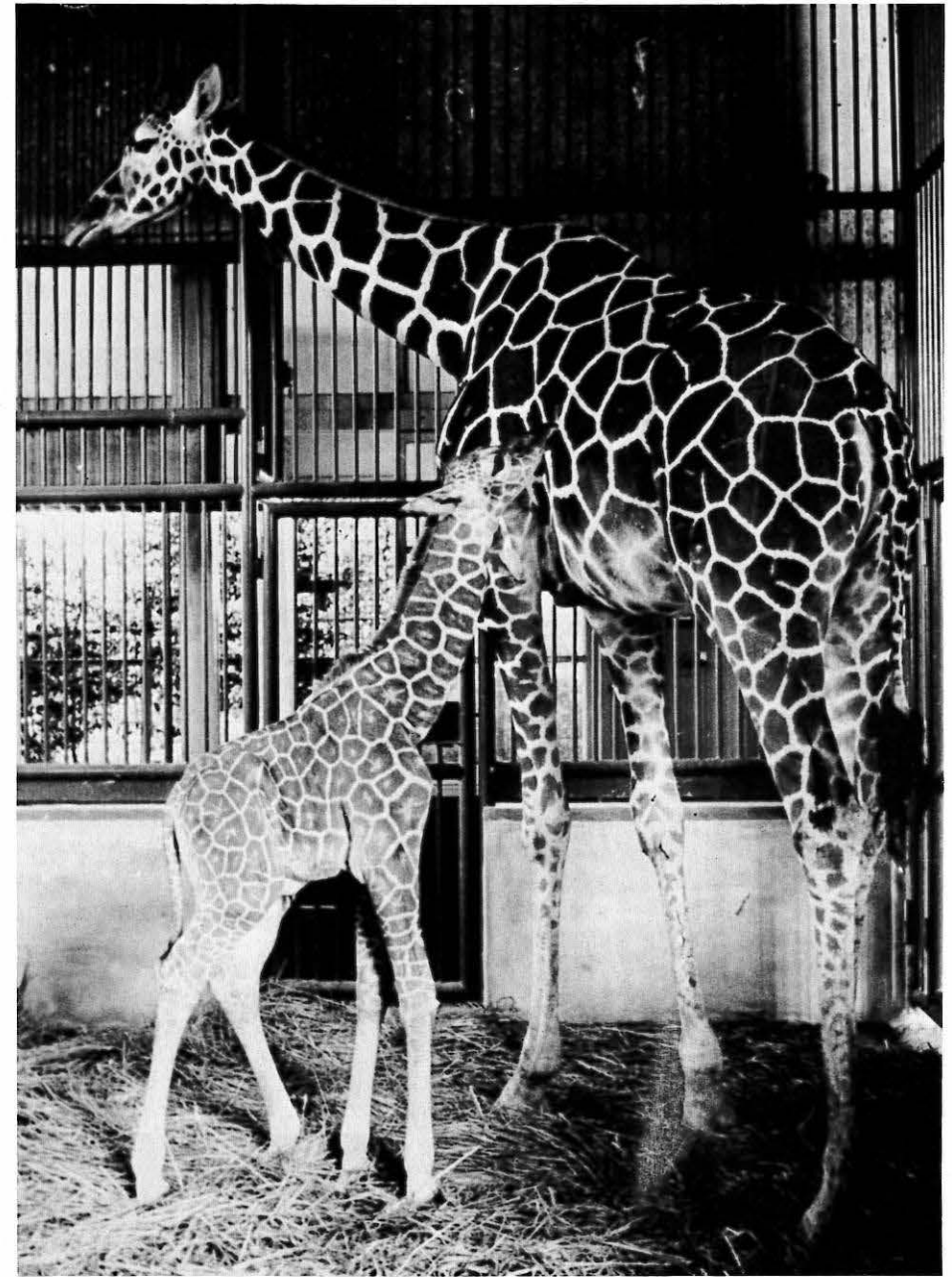
動物と私 2
キリンの赤ちゃん誕生 3
羊の郷土玩具 4・5
緬羊の品種 6・7
動物園グラフ・動物園日記 8・9
キーパーズ・アイ 10
動物園ニュース 11

表紙の写真説明

“ヒツジ” (Ovis aries)

ヒツジは中石器時代(8000~1万年前)にメソポタミア地方で家畜化されたと言われています。現在では毛、皮、肉、乳、糞、腸等、体の様々な部分が人間の生活に役立っています。

(撮影:長瀬 健二郎)



“キリンの赤ちゃん誕生”

昨年11月4日にアミメキリンの赤ちゃん(雄)が生まれました。実に6年ぶりのおめでたです。小春日和の日には、屋外で駆け回っています。

(撮影:竹田 正人)

羊の郷土玩具

なきごえ27(1),1991

十二支の8番目がヒツジ。十二支のなかでは一番日本人になじみのやすい動物が羊である。羊の玩具には、物語も伝説もなく配する人物も適当なものはなく、羊の原稿となると十二支中最も苦しめられる。

羊の家畜化は西アジアに始まり、日本へは推古天皇の御代に百済からラクダ、ロバなどともに羊2頭が朝廷に献上されたとあるので、恐らく1200年以上も前からすでに日本人の目に触れたことになる。しかし家畜化が遅れたのはウシ、ウマ、ニワトリなどとちがって防寒具、肉や皮革の利用に鈍感であったからであろう。

根本的に羊は乾燥には強いが、日本のような湿度の高い土地では病気にかかりやすい。明治以降にな

って北海道では成功しているが他の地方ではうまくいっていない。羊毛生産のために



伏見人形坐羊 9×13

ろいろな品種が輸入されたが、毛肉兼用種のコリデル種に落ち着いている。ジンギスカンなべはこの肉を食べるのに日本で考案された料理である。現在家畜として世界に約11億1400万頭が飼育されており、日本では約2万頭。世界的に多いのは毛用品種のメリノ系で、外に乳用(チーズ用)のラクーヌ種、毛皮用のカラクル種、肉用のダウン系など兼用品種も多く約200品種に及んでいる。ことわざに「羊質にして虎皮す」「屠所にひかれる羊」

羊はのろく愚かで、おく病で無力な動物といわれているが、機会をあたえてやれば立派にのびる素質があるとの実験結果もある。ともかく従順な性質の持ち主である。

ヒツジ年生まれの人、おとなしくて優しく、素直だという。婿をもらうならヒツジ年の男性といわれたのは過去のこと、今はすべての面で男女平等、むしろ今の女性のほうが昔の亭主閨白以上であると、と聞かされることがある。

さて、羊といえばヤギと近い親類で、同じようなものと考えられやすいが、「動物園」ではヤギと同居のかたちなので相違が一目でわかる。まず体つきが違う。ヤギはやせているが、羊は丸々と太っている。それにヤギは真直ぐな角があり、一様にあご一つまみのヤギヒゲをはやしている。このヒゲのせいで、まるで哲人めいた風ぼうだ。羊は、これに比較しておっとりしている。ほかに性格的にヤギの方が活発で高所へ登るのが好きだという違いがあり、また体も湿気に弱い羊にくらべて、ヤギは環境適応性が大きいなど、案外違った点も多いのである。また、羊は親子の情愛のこまやかな動物といわれる。悪くいえば、これも憶病のせいだろうが、親の行く

ところ離れずについて歩く子羊の姿は、まことに愛らしくかわいい。

西洋では羊を平和と光のシンボルといわれる。また、羊にはあごヒゲやあごの下の肉のたれ下がりはないが、大抵のヤギにはこれらがある。普通の品種の羊の尾は耳より短い、ヤギの尾は耳より長い。ただし羊には尾に脂肪をたくわえる脂尾羊もいる。羊の角はらせん形に巻くが、ヤギの角はねじれることがあっても巻くことはない。しかし両方とも無角の品種もいる。羊の毛は細くたくさんの脂肪がついて



春日大社の木彫の羊 (奈良)

をもっている。羊は柔らかい草を好み草原に生活するが、ヤギは堅い葉でも平気で食べ険しいがけも登る。羊は何百頭もの群れをつくるが、ヤギは大群をつくらない。

物語としても、羊が登場することもないが、面白い話に、金貸しが借金を取り立てに来て、証文を取り出し請求していると、風が吹いてその証文が屋外に飛び、借金をした人が庭に飼っている羊がこれを食べしてしまうというヒツジ年の当てこみ面白い話がある。

さて、郷土玩具の世界では、羊という動物は変化がなく一番種類が少ない。昨年ウマ年のように多種多様、話題も豊富であったのにくらべて、まことにさびしく、またよいデザインがないのが残念。明治時代には羊を見る機会がなかったためか、ヤギと混同されていて、古い型で作った土製の羊玩具には、羊かヤギかと疑うものがある。あごヒゲやあごの下のたれ下がった羊で、ヤギのもの



能古見の羊鈴 (佐賀) 平成3年年賀切手(くじなし41円)のデザインに採用

であるが、角は羊といったところ。張り子の羊にひげや肉のたれ下がりのないのは制作過程の煩雑さを避けるためであったらうか。そのため羊にビタリである。また、毎年のように年末になると郷土玩具では、新年のエト動物が新作されるが、1まわり前

なきごえ27(1),1991

のヒツジ年(12年前)に作られたもので、よほど好評でないたびお目にかかれるものは少ない。

年賀切手のデザインに郷土玩具が採用されたのは昭和29年福島の三春駒が最初で、以来昭和46年新潟新井市平丸の猪へと続いたが、なぜか昭和47、48、49、50年の4年間中断して昭和51年の三春張子辰車から再び郷玩にもどり、図案家が選ぶ十二支の問題点を見出すものの、年賀切手といえば郷土玩具と定着したようである。平成2年は従来どおりの葉書用に青森の八幡馬が、さらに62円切手の卦書用として抽選番号付きで静岡浜松張子の飾り絵馬が今までの倍の大きさで登場した。

さて、羊のデザインであるが、昭和42年奈良春日大社の一刀彫、54年は秋田中山土人形の羊土鈴が選ばれ、平成3年は41円切手に高知の土佐土鈴の羊、佐賀能古見の羊土鈴(大)、62円切手が広島常石張子の羊と決定した。

春日大社の一刀彫の羊(奈良) 奈良の春日大社では、毎年その年のエトにちなむ一刀彫



土佐土鈴の羊(高知) 平成3年年賀切手(41円)のデザインに採用

の動物を縁起ものとして授与する。昭和42年の羊は年賀切手図案に登場した。羊の郷土玩具は数は少ないが、この木彫の羊は傑作といえる。

中山土人形の羊土鈴(秋田) 石坂洋次郎の小説「山と川のある町」の舞台となった横手市は奥羽山脈と出羽丘陵にはさまれた横手盆地の中心地で、雪国秋田で最も積雪の多いところである。中山土人形の羊土鈴は、この地で生まれた。昭和54年ヒツジ年の年賀切手図案に採用された羊は、黄地の体に花模様を描き、角が青、丸々と太ったかわいらしい羊で素朴さを感じさせる。

土佐土鈴の羊(高知) 高知県のほぼ中央に位置する高知市は土佐湾の奥に発達した城下町。昭和34年に流行した歌謡曲、ベギー葉山の「南国土佐を後にして」がヒットして以来、大勢の観光客が訪れるようになった。土佐土鈴の羊は、白い胴体に梅鉢紋を描き、角は群青色で南国的な明るい色彩で、いかにも郷土玩具らしい作品である。

能古見人形の羊土鈴(佐賀) 能古見人形の作られている鹿島市能古見は、九州の北部有明海に面した佐賀平野の西南にあり、鍋島支藩の城下町として栄えた町である。大東亜戦争終結の昭和20年、人の心にうるおいをもたらす郷土玩具を作ったのが、能古見人形の十二支土鈴。白、黄、青などの明るいコントラストで、頭に付いている竹皮を振ると、かわいい音がする土鈴。昭和38年卯年には、同シリーズの「うさぎ」が年賀切手の図案となり全国的にファン

が増えた。さらに平成3年のヒツジ年の年賀切手のデザインに羊土鈴(大)が採用された。南国的な明るさと単純化された造形で素朴な味わいをもつ羊土鈴である。

常石張子の羊(広島) 瀬戸内海有数の観光地鞆の浦と山をはさんで、背中合わせにあるのが常石の町。この常石は、かつて石炭船の寄港地として栄えた町。その昔、同地方には八朔(はっさく)の節句人形を飾る風習があり、その贈りものとして作られてきた。もとは土製であったが、作った土人形を各地に出荷するたびに破損するため張子(紙製)に転向した。この羊はどこか土製の感じがする。平成3年の年賀切手のデザインに採用された。

花巻土人形の羊(岩手) 花巻市は、旧南部2万石の城下町。京文化の影響をうけ周囲を山々に囲まれた静かな温泉の町と知られている。この地の花巻人形の彩色の美しさに特徴がみられる。花巻土人形の羊は、腹部に梅や桜などの花模様が描かれ「花巻」の名にふさわしい羊である。



常石張子の羊(広島) 平成3年年賀切手(62円)のデザインに採用

出雲張子の羊(島根) 機関誌「おもちゃ通信」取材のため今日は南へ、明日は北にと旅を続けたものだ。出雲市から出雲大社へ向う車窓からみる農村風景は豊かな美しさを感じて、いかにも神話のふるさとにきた思いがする。この出雲地方では、古くから節句に張子の虎を飾る風習があった。郷土玩具の虎は昭和37年寅年の年賀切手に登場した。同地で作る羊は張子の首振りで胴にはめでたい松竹梅がえがかれており、悠々と首を振る姿のものである。

津屋崎土人形の羊笛(福岡) 宗像郡津屋崎町は、北九州市と福岡市のほぼ中間に位置する古い港町。かつては港で栄えた狭い家並が、今はひっそりと続き、津屋崎土人形を作る2軒の家がその街道筋で昔ながらの素朴な作風をうけ継いでいる。ここ津屋崎には人形作りのほかに十二支の土笛が作られている。羊は丸々と太った土笛で、黄地の体に群青色の角を折まげ、黒と赤で目をえがき、尾口から吹くと「ホーホ」と鳴き声を出す。

親から子へと代々親しまれてきた、こういった郷土玩具も、戦後の社会のげいげい近代化のかげで、次第にその姿を消してゆく今日、大切に保存してゆきたいものである。

(動物郷土玩具蒐集家 「おもちゃ通信」編集発行人)

平田嘉一

正田陽一

今年の干支は辛未——ヒツジ年である。ヒツジは今から約一万年前に3種の野生羊(ムフロン、ウリアル、アルガリ)から馴化された家畜で、肉や乳を食料に、毛や毛皮、皮革を衣料として利用されている。祖先種が多く多源的で、用途が多岐にわたっている多目的の家畜だから品種の数が多いのも当然で、メイソンの「家畜品種事典」で数えると世界中の品種の数は千を超える。

羊毛(ウール)はヒツジの重要な生産物の一つである。羊毛を採るためにヒツジは野生の時には春に抜け落ちる冬毛(下毛)を年間を通じて伸び続けるように、そして一次毛囊から生える粗毛も冬毛と変らぬ柔らかい細毛(毛髓が欠けていて中空で、そのため軽く柔らかく保温性が高い)に変えるように改良されたのである。

毛用種の代表がメリノ種(Merino)である。年配の方にはなつかしいメリンス(薄手・平織りのウールの布地)の語源であることから判るように、13世紀頃のスペインに生まれたメリノ種は細く美しい細毛で全身を被われた羊毛生産のスペシャリストである。1平方センチの皮膚に1万本の細毛が生えていて、肉用の品種と比較すると10倍の密度である。18世紀の初めまでは生体での輸出は禁止されており、この法を冒した者は死刑に処せられるほど大切に守られていた。ただ、ヨーロッパの王家間の友好・親善を深めるための贈物としてフランスのルイ王家、ドイツのサクソン王家、オランダのオレンジ王家へ贈られていた。輸出解禁を契機として18世紀の中頃にはこれらの国々でそれぞれラムブイエ・メリノ種(Ramboillet M.)、サクソニー・メリノ種(Saxony M.)、ケープ・メリノ種(Cape M.)が作出された。19世紀に移る頃にはオーストラリア、合衆国、南米諸国にも導入させてオーストラリアン・メリノ種(Australian M.)ほかの毛用種が次々に作られていった。中国にも入って高山細毛種(Alpine Fine Wool)が作出されている。(写真1)世界中で一番細かな羊毛はタスマニア島産のオーストラリアン・メリノ種の毛だとされている。

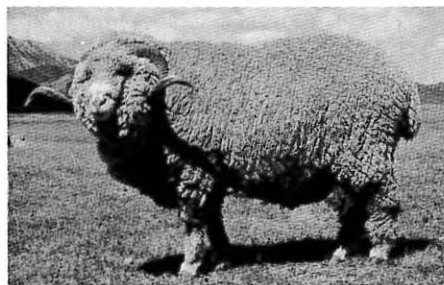


写真1. 高山細毛羊 [Alpine Fine Wool]

羊肉は日本人にはあまり好まれないが、欧米や中国では高い評価をうけている食肉で、生後1年未満の子羊肉をラム、成熟した親羊の肉をマトンという。一般に肉質はラムが優れていて、マトンは特有な臭気があり、この点と脂肪の融点が高く冷食に不向き

な点がわが国での不人気の原因となっている。

種畜生産国として長い伝統を持つ英国では40種以上の品種が生まれているが、何れも肉用種である。羊毛の性質によって短毛種、長毛種、粗毛種の3グループに別けられる。

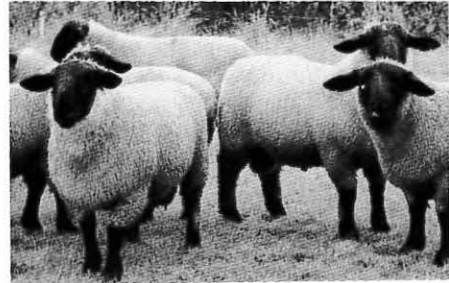


写真2. サフォーク [Suffolk]

短毛種の代表はイングランドの改良牧野に飼われるダウン系種(ダウンというのは平らな頂きに樹木の生えていない丘陵の地形)——サウス・ダウン種(Southdown)、サフォーク種(Suffolk)、シュロップシャー種(Shropshire)、ハンブシャー種(Hampshire)などである。何れも体が小さく、雌雄とも無角で、毛は短い。肉質はたいへん優れていて、イングランドの人達はその理由を「白亜質の土壌の野にたくさん発生するカタツムリを食べているからである」として、サウスダウン種を「肉細羊の女王」と自慢する。サフォーク種(写真2)は頭部と四肢の下部が黒色の粗毛で被われているのが特徴で、産肉量が多く、近年わが国での飼育頭数も増えてきている。ダウン系種以外の短毛種としては、雌雄とも立派な螺旋角を持つドーセット・ホーン種(Dorset Horn)やウィルトシャー・ホーン種(Wiltshire Horn)などがある。



写真3. レスター [Leicester]

長毛種は、全身を長い、絹糸状の光沢を持った毛で被われている品種で、イングランドの中央部から北部にかけての低地に飼われている。レスター種、(Leicester:写真3)は、著名な育種家ロバート・ベイクウェルが作り出した品種で、全ての長毛種の基礎となった。漣状の長毛が美しい。スコットランドとの境界地域には本種から改良されたボーダー・レスター種(Border Leicester)が飼養されている。リンカーン種(Lincoln)は体格の雄大な、英国最大の品種で、毛は一年で30cmぐらいに伸びる。羊毛はふつう毛脂でベトベトしていて毛束がお互にくっついているものであるが、長毛種の毛は毛脂に乏しく、毛束がバラバラなので雨に濡れると毛が傷み易い。

ロムニー・マーシュ種(Romney Marsh)はロムニー地方を原産地とする。マーシュ[沼沢地帯]という語の示す通りこの地域は低湿地帯である。一般にヒツジは乾燥した気候を好み、じめじめした土地では腐蹄症という病気にかかり易いのだが、本種は湿気に強いという特徴をもつため、日本の気候風土に適するのではないかと、第二次世界大戦後にわが国に輸入された歴史があるが、成功しなかった。

英国の北部、スコットランドから西部のウェールズにかけての山岳丘陵地帯に飼われているのが粗毛種である。貧弱な自然草地に放牧され、冬の厳しい寒気にも良く耐える体質の強健な品種であるが、肉質は優秀で、スコットランドの人達に言わせると「この土地の顔の黒いヒツジ達の肉のマトンチャップがイギリス羊肉料理の華」ということになっている。ブラックフェイス種(Black-face)、ロンク種(Lonk)、ラフ・フェル種(Rough Fell)があり、何れも顔に黒い斑紋があり、雌雄とも有角で、長い粗毛が全身を被っている。ロンク種(写真4)の名はこの地方に野生している草の名に由来している。このほかチェビオット地方のチェビオット種(Cheviot)ウェールズ地方のブラック・ウェルシュ・マウンテン種(Black Welsh Mountain)など地方ごとに各種の粗毛種が飼われている。

英国にはこのほかに、面白い姿・形のヒツジの品種があって、各地の動物園にも飼育展示されている。その一つは4本の角を持つヒツジで、褐色の毛のマンクス・ロフトン種(Manx-Loaghtan)や黒白斑のヤコブ種(Jacob;写真5)である。雄の頭部には見事に捲いた2本の角とそれより小型の2本の角、計4本の角がある。ヤコブ種はわが国にも輸入されて千葉市の動物公園に展示されている。また北ヨーロッパの短尾の品種の起源となったソーイ羊(Soay)は体型・毛色がムフロンに酷似しており、ヨーロッパ各地の動物園に、原始的な家畜羊として飼養されている。



写真4. ロンク [Lonk]

奇妙な姿のヒツジといえば、中国の大尾寒羊(Large Tail Han Sheep;写真6)もその一つである。太い尾にはたっぷりと脂肪が貯えられていて、最大のものでは長さ74cm、幅54cmにもなる。

中国に牧羊の盛んな国で、ヒツジは重要な家畜である。羊は食べると栄養豊かで、だから誰でも喜ぶ御馳走である。善はもともと御馳走のことだったが、今では意味が広がって、「にくずき」をつけた膳がそれに代った。大きい羊は美しいし、神に捧げれば吉祥がもたらされる。鮮・洋・義……羊の付く字がすべて良い意味の字ばかりなのは中国の人々の

この動物に対する気持の現われであろう。

一番飼養頭数の多いのは蒙古羊(Mongolian Sheep)で、中国のヒツジの6割を占める。湖羊(Hu Sheep)は毛皮用種で、生まれた直後の子羊から美しい白色の毛皮がとれる。繁殖力が強く、双仔を産む率が高く、年2回分娩することもある。

毛皮用種としては、中央アジア原産のカラクル種(Karakul)でも有名で、その子羊の漆黒の毛皮はアストラカンの名で婦人用コートに珍重される。その他、羊乳を採るためのドイツのオストフリアン種(Ostfriesian)、フランスのラクヌ種(Lacaune)がある。羊乳はそのまま飲用にするほか、ロックフォールなどのチーズの原料となる。

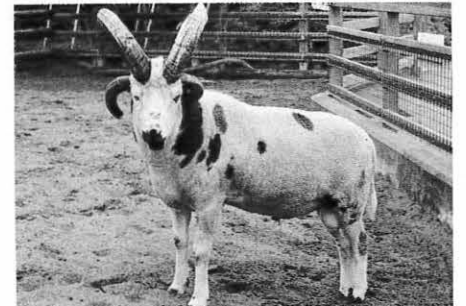


写真5. ヤコブ [Jacob]

これらの専用種のほかに、兼用種がある。兼用という「毛も採れ肉も利用され…」と複数の生産物を目的とする品種と思われ勝ちだが、その意味ではこれまで述べた専用種もほとんど全部が毛と肉(又は乳や毛皮)の双方を生産している。兼用種とは飼養地の条件によって、あるいは原毛の国際価格の変動といった経済情勢によって、時には毛用種として時には肉用種として飼養される品種のことで、毛用のメリノ種と肉用の英国長毛種(レスター種、リンカーン種など)の交配したものを基礎に成立したもので、コリデール種(Corriedale)、アイデアル種(Ideal)などがある。



写真6. 大尾寒羊 [Large Tail Han Sheep]

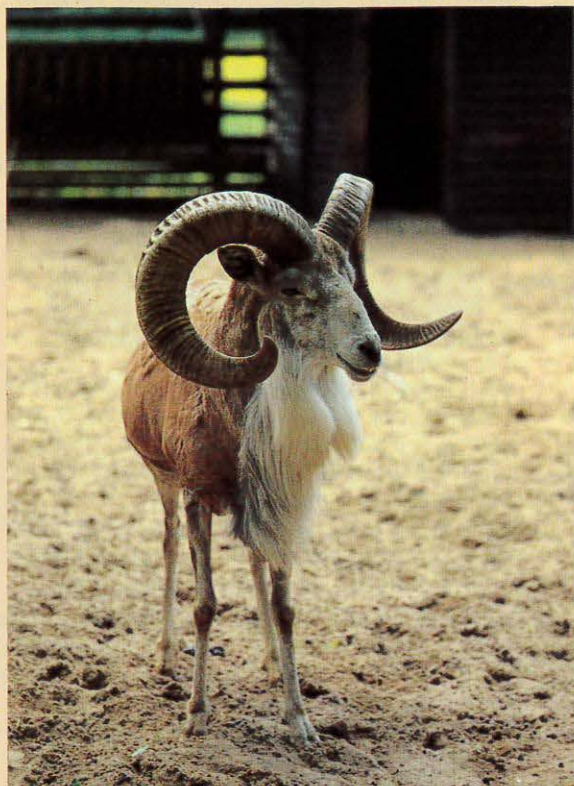
以上、世界の主要な緬羊の品種を概説した。近年、動物園でも「こども動物園」「ミニ牧場」「コンタクト・コーナー」といった施設にはおとなしい動物としてヒツジが飼養されている。天王寺動物園はサクソニー系のオーストラリアンメリノ種やコリデール、京都市動物園にはコリデール種がいる。ヒツジ年のお正月、これらの羊達に是非会いに来て頂きたい。東京大学名誉教授、茨城大学教授、農学博士

正田陽一

動物園グラフ

“ヒツジあれこれ”

今年の干支はヒツジです。そこで新年号のグラフは野生のヒツジと変ったヒツジをご紹介します。(撮影：長瀬 健二郎)



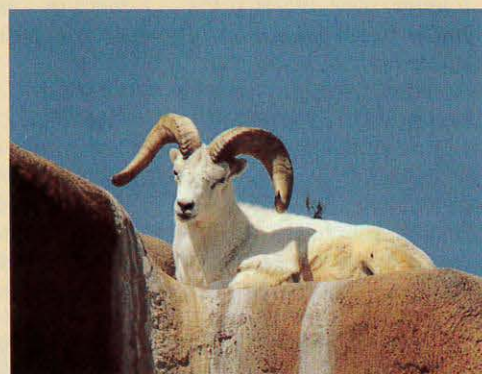
アルガリ

アフガニスタンからモンゴル、チベット高原までの寒冷な高山帯に住んでいます。最大の野生のヒツジで200kg近くになるものもいます。



バーラル

ヒマラヤの高山地帯に住む野生のヒツジで夏には標高5000mまであがります。体の色から「ブルーシープ」の別名もあります。



ドールシープ

カナダの北西部の山岳地帯に住んでいる野生ヒツジです。体毛の白いタイプと黒ないしは灰色の2つのタイプがあります。



ムフロン

小アジアからイラン、地中海のいくつかの島に分布しています。野生ヒツジの中では最小で、体重は40~50kg位です。



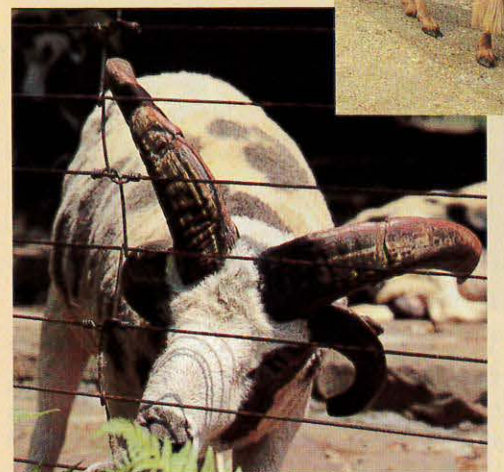
オオツノヒツジ

カナダの北西部から北アメリカ西部、メキシコ北部にかけての山岳地帯や砂漠に住んでいます。名の通り大きなツノが特徴です。



バーバリシープ

アフリカ北部の山岳地帯に生息しています。写真でお分りのようにアゴから胸にかけての長い毛が特徴で、タテガミの名もありました。



ヤコブ

ヨツツノヒツジの別名もある家畜ヒツジですが、角の数は2本から6本と様々で角のないものもいます。原産地はノルウェーと言われます。



ヒツジの体は白色、と決っているようですが中にはこのように茶色のものもいます。でも白色のヒツジと一緒に仲良く草を食べていました。

10・11月の動物園日記

- 10/25. 夜行性動物舎で2頭のショウガラゴが生まれているのを発見しました。
- 10/28. タヌキを1羽保護しました。秋の動物と花のフェスティバルで動物あてクイズ「さわってポン」を開催しました。
- 10/29. 下水道局抽水所で捕獲されたメガネカマンを1羽保護しました。ゴリラ舎とオランウータン舎の暖房を始めました。第8次大阪・上海動物交流視察団の一行が中国から帰国しました。
- 10/30. ゴイサギを1羽保護しました。
- 11/1. 東京都多摩動物公園の飼育係の方1名が来園見学されました。税関から毛皮の同定依

- 頼がありました。
- 11/3. 秋の動物と花のフェスティバルで「動物君こんにちわ」を開催しました。
- 11/4. アミメキリンの赤ちゃん1頭(雄)が生まれました。
- 11/5. ヤマシギを1羽保護しました。ニホンシカを用いて飼育技術研修会を行いました。
- 11/7. ツツドリを1羽保護しました。福岡市動植物園の方3名が来園見学されました。
- 11/9. ホシハジロ1羽とガラゴの一種1頭を保護しました。
- 11/10. タヌキやゴイサギなどの保護動物を自然復帰させました。
- 11/11. 秋の動物と花のフェスティバル'90が閉幕し

- ました。
- 11/14. キリンの赤ちゃんの一般公開を始めました。ショウガラゴの赤ちゃんの性別鑑定を行い、2頭とも雄でした。宝塚動植物園の飼育係の方1名が来園見学されました。
- 11/16. アカハラ1羽とオオミズナギドリ1羽を保護しました。近畿ブロック動物園水族館事務主任者会議を当園で開催。
- 11/18. 第67回動物のお話とスライドの会の代わりに「コアラウォッチング」を開催しました。
- 11/19. 鳥の楽園のハクガン(ヒナ)の性別鑑定をしました。
- 11/20. サル舎のフサオマキザルが怪我をし、治療のため入院しました。

- ウミズメを1羽保護しました。
- 11/21. フクロウを1羽保護しました。
- 11/22. オオミズナギドリを1羽保護しました。
- 11/23. キジバト1羽、ゴイサギ1羽、伝書鳩1羽を保護しました。
- 11/24. 保護したオオミズナギドリとゴイサギを自然復帰させました。アメリカバクが交尾しました。
- 11/25. ホーブラが疝痛を起こしたため治療しました。
- 11/27. 東京都恩賜上野動物園前園長中川志郎氏が来園されました。

☆ 動物園の楽しみ方……

毎朝、作業服に着がえて動物舎に行くまでが私の楽しみのひとつなのです。

開園前の静かな園内を歩き出すと、いろんな音が耳に入ってきます。それはフラミンゴやツルの鳴き声であったり、日によって違うのですが、私が一番気に入っているのが夏のセミの声です。あらゆる所で、これでもかと言わんばかりに鳴き続ける声を聞くと“夏やなー”という実感が心から湧いてくるものです。

音だけではなく目に映るものも季節によって少しずつ変わっていくのがわかります。冬の間は枯木のようにだった木が、春に芽をふき始めたかと思うとすぐに葉が繁ります。その葉が夏の強い陽射しを気持ちよい木漏れ日に変えてくれます。やがて秋、風の強かった次の日は、黄色いじゅうたんの様な落葉の上を歩いていきます。

というような具合で、都会育ちの私など朝のこの時が一番自然を身近かに感じとることができる時なのです。皆さんも動物園に来て、動物達を見て帰るだけではなく、時々立ちどまってまわりをゆっくり



秋の風情漂う園内

と見まわして下さい。動物や植物と共に自然を感じるといふ、また一味違った動物園の楽しみ方が発見できると思います。

動物園にも、カモ達がやって来る季節になります。これでまたひとつ楽しみが増えます。

(飼育課：早川 篤)

☆ オラン・ウータンのお腹の中味



お腹の大きなサツキ

オラン・ウータンのメス(サツキ)が妊娠しています。出産予定が11月末から12月初めのため、9月からビデオで行動をチェックしていますが、普段、私たちがいるとしないような行動が画面を通して見る事ができるので、真剣に観察をしているのですが、日を追ってお腹が大きくなっていくのがよくわかり

ます。それも、今にも張り裂けそうに膨れているのです。

先日、昼過ぎに、「もしかしたら、双子かもしれないぞ。」と言いながら、数人でモニターを見ていました。すると突然、サツキが寝台の上のり、カメラの方にお尻を向けて力きみ始めたのです。「生まれるんちゃうか!!」と体をのり出しモニターにかじりついて見ていると、最初はすごい量の尿がほとばしり、なおも力きみ続けていました。「あっ何か出て来た!!」……それは大きな大きなウンチでした。しかも3連発で、いや参った!

全員で、もしかすると、あのお腹の中味が全部ウンコだったらと大笑いしました。

しかし、それからも確実に出産が近づいている兆候が見られています。この号が出る頃には、かわいい赤ちゃんが生まれているかもしれません。次号には、楽しい結果が報告できるものと思います。乞う御期待。

(飼育課：原田 勉)

§ ショウガラコの赤ちゃん誕生

昨年10月25日、夜行性動物舎のショウガラコ展示室で、かわいい双子の赤ちゃんの生まれているのが発見されました。同舎は、昭和60年1月オープンしましたが、ショウガラコについてはこれが4度目の

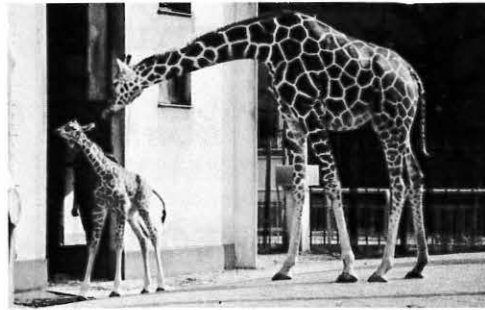


木の洞より顔を出す2頭の子供たち

繁殖で、うち双生仔は2度ありました。生まれたばかりの子供の体重はわずか12g程しかなく、移動するとき、母親は子供を口でくわえて運びます。赤ちゃんの成長はたいへん早く、半月程で止り木を軽快に跳び交うようになりました。

§ アミメキリンの赤ちゃん6年ぶりに誕生

昨年11月4日、この年の12月で6歳になるアミメキリンの“ハルミ”が、当園では6年ぶりの繁殖を



生後9日目の子供と母親のハルミ

果たしました。午前中の出産であったため集った職員の見守りなか、初産にもかかわらず無事、オスの赤ちゃんを出産しました。1時間後には起立し、2時間後には母親からのほ乳も認められました。当園で19頭目のこの赤ちゃんキリンは出産後1週間目に突然の寒波による下痢で心配をかけたましたが、何とか持ち越し落ち着いた母親により、順調に育てられています。

§ 飼育技術研修会開催

当園では、毎年飼育課職員の資質向上と技術研鑽のため飼育技術研修会を開催していますが、今年は11月5日に奈良の鹿愛護会で鹿守りをされている職員2名を講師としてお招きし、ニホンジカの捕獲と保定についての、講演ならびに実技指導をしていた

……*……*……*……*……*……*……*……*……*

現在の飼育動物数 (平成2年11月30日現在)

哺乳類	13目	97種	395点
鳥類	20目	187種	743点
爬虫類	3目	33種	72点
合計	36目	317種	1210点

いただきました。実技指導では当園職員も加わり、古式



講師とともにロープで捕獲する飼育課職員

のつとったニホンジカの雄2頭の捕獲と保定を、独特の捕獲用具である竹製の「十字」と呼ばれている手作りの道具を用いて実際に行い、動物園で行っている方法とはひとあじ違う捕獲法に感心し、興味ぶかく見入っていました。

§ コアラウォッチング開催

昨年11月18日(日)、フィールドスコープを用いて、コアラをじっくり観察してもらおうと、コアラウォッチングを行いました。当日は天候もよく、屋外放飼場には、雄のメル、雌のテラ、ララがお目見えし、開催時刻も一日一回の給餌に重なるように午後1時



望遠鏡でコアラを観察する来園客の子供

から2時の間でしたから、コアラの動く姿もみえ、日頃遠くからしか見られないコアラを望遠鏡で間近に見て、入園者の方々はたいへん喜んでいました。

●お知らせ

- 動物のお話とスライドの会
 - 1月20日(日) エトのお話
 - 2月17日(日) バードウォッチング
 - 3月17日(日) サルのお話
- 時間：午後1時～2時
- 場所：レクチャールーム
- 2月17日のみバードケージ“鳥の楽園”

●テレフォンサービス実施中

催し物、トピックスなど魅力たっぷりの動物園の案内を、24時間テレフォンサービスで行っていますので、ぜひご利用ください。電話番号 771-9999

*** 休園日のお知らせ ***

動物園の休園日は毎週月曜日(休日の場合は翌日)です。
開園時間は午前9時30分から午後5時までで、午後4時まで入園できます。

愛ある暮らし、応援します。

Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

中川道朗・岩合徳光/監修
B5変型判・オールカラー
定価580円

動物園で暮らす様々な生き物達、
自然の中ではどんな暮らしをして
いるのか？ 動物園での世話
の仕方は？ 仲間はず？ など、
写真と精密イラストをまじえ紹
介します。

くらしとかいかたシリーズ<既刊本>
B5変型判・オールカラー・各定価580円

むしくらしとかいかた

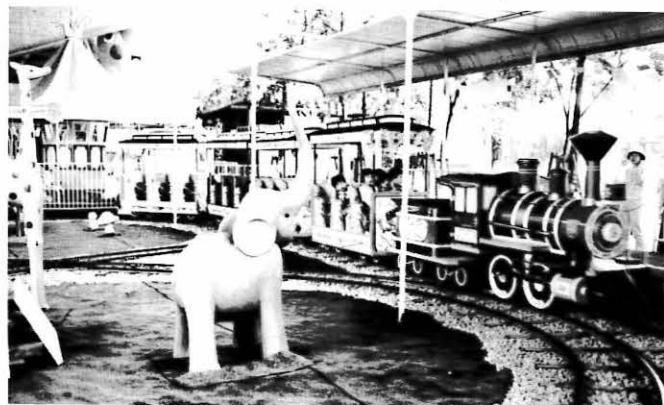
野山でみかける身近な昆虫たち
250種を紹介。

ちいさないきものくらしとかいかた

昆虫以外の小さな生き物を320
種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 ひかりのくに株式会社 本社/〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表

たのしいのりものが待っています。



1人1回
100円
(1才まで無料)

団体割引
(30人以上)
……1割引

久竹娛樂株式会社
TEL(06)541-3938(代)

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

オートフォーカスカメラに

フジカラー SUPER HG 400

ピントが合いやすいフィルムです



カメラの大林

桜橋本店 ☎341-8091
三番街店 ☎372-5031

全国の愛犬家の共感を呼ぶ無比の愛犬歌集

絶賛四版

歌集 犬の歌

平岩米吉著

著者が、約四十年の間に、共に暮らした七十余頭の犬の生と死
を歌った四百十九首を収録。同時に、その誕生より老齢に至る
写真四十七図を収めた、犬の一生の生態写真集でもある。

天金・美装箱入
B6判・270頁
3000円・〒不要

《感動の言葉》

- ☆ この歌は愛犬と異体同心の境地である。(英文学者)
- ☆ 人として注ぎ得る愛情の極致を示している。(動物研究家)
- ☆ 一首ごとに、ことごとく魂にひびく歌です。(動物愛護家)

●本書は、書店ではお買い
求めになれません。
直接当会へお申し込みく
ださい。

〒152/東京都目黒区自由が丘3-12-2 動物文学会 電話(03)717-1659/振替・東京5-9800

新作

貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」
19分(10本常備)

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料480円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキで
お申込下さい。

コアラテレホンカード(限定販売)
好評発売中 ¥800(50度用)

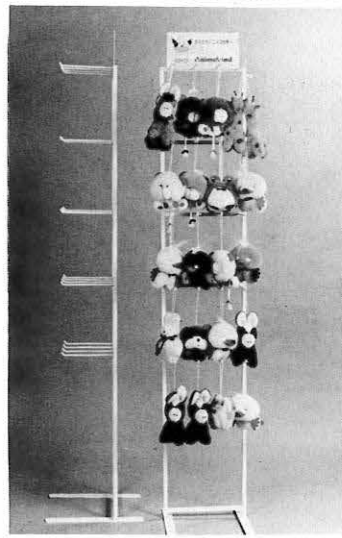
天王寺動物園の本 入園の記念・手引に……



オールカラー
500円

園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

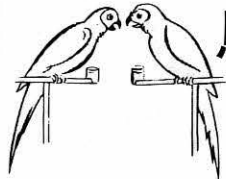


動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

各種ぬいぐるみ企画・製造・卸

有限会社 **アニメランド**

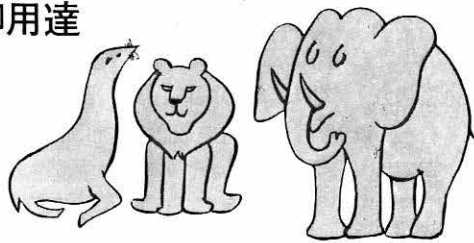
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号
TEL : (06) 704-8580
FAX : (06) 704-8565



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの) 要郵便券250円

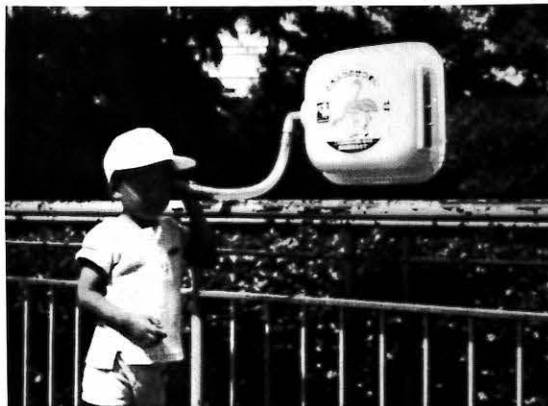


有限会社 **吉川商会**

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話 (078) 221-8195(代)

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数カ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 20円

動物園内での お食事、ご休憩は

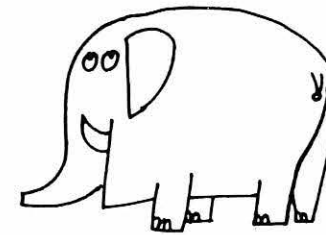
大阪市天王寺動物園内

中央売店

☎ (06) 771-0973



天王寺動物園内



南園売店

大阪市天王寺区茶白山町6-74
電話 (06) 771-7110番

園内での写真は...

動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機して
おりますので説明
に伺いました際は、
よろしくお願ひ致し
ます。

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせて戴きます。
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

国際航空写真株式会社
TEL 06-856-7444



雪印乳業

唯ちゃんも、
とってもゼリーも、
ますます成長しました。



浅香 唯

フルーツゼリー とってもゼリー



野生動物をみんなで守ろう

WE SUPPORT WILDLIFE!

天王寺動物園協会の売店に“WWF国際保護動物ぬいぐるみコーナー”があります。
このぬいぐるみにはパンダマークがついており売上げの一部はWWFJ（世界自然保護基金日本委員会）に寄付されます。すばらしい野生動物を私たちの手で大切に守りましょう。

ぬいぐるみ販売コーナー

お申込み、お問合わせは——
社団法人 大阪市天王寺動物園協会
(天王寺動物園内) TEL (06) 771-0201

株式会社 ファミリア商事部
TEL (078) 321-0345

●お電話でのお申込みは動物園協会まで。
なお、郵送の場合は実費を負担していただきます。



●WWF(WORLD WIDE FUND FOR NATURE)とは？
世界自然保護基金。世界中の危機に瀕している動物植物と、その自然環境を保護するための機関です。



なきごえ 1991年1月10日発行(毎月10日発行)第27巻 第1号 (通巻305号)

編集 / 大阪市天王寺動物園
発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 橋本一郎
印刷所 / 株式会社 松村善進堂 定価150円(送料共) 1年継続(12部) 1,650円(送料共)
〒543 大阪市天王寺区茶白山町6-74
電話 大阪 (06) 771-0201
振替口座 大阪 3-3 7823

編集委員 (伊東重朗 / 大西史朗 / 藤野勝吉 / 中山良三郎 / 中川哲男 / 吉本昌俊 / 奥上 昇 / 大谷直樹 / 宮下 実 / 長瀬健二郎 / 榊原安昭 / 森本委利 / 竹田正人 / 大野尊信 / 野口秀高 / 早川 篤 / 赤松 建 / 中垣圭史 / 大川光雄 / 土谷正道)